

## 『平安があるように』(ヨハネの福音書 20 章 19-23 節) 2023.4.16.

<はじめに> 週の初めの日の夕方、よみがえられたイエスはいよいよ弟子たちの許に現れました。イエスは「平安があなたがたにあるように」のことばを、弟子たちに二度掛けられています(19,21)。復活のイエスが私たちに与えてくださる素晴らしいギフトは「平安」です。

### I イエスが来られたから(19-20)

#### ①鍵をかけた部屋に(19)

イエスの死(19 章)、そして空の墓(1-7)と「主を見た」(18)という証言に戸惑う弟子たちが、その日の夕方に集まっていました。ユダヤ人を恐れていたため、戸に鍵をかけていました。具体的にどんなことに怯えていたのでしょうか。そのただ中に突然、イエスが現れます。

#### ②来て、真ん中に立ち(19)

恐れと不安に取り囲まれた弟子たちの許に来られ、真ん中に立たれます。十字架の釘も、墓の入口の大岩も、扉や鍵も、イエスを阻めることはできません。よみがえられたイエスは、今も私たちのあらゆる場面・状況の中に来て、立っておられます。

#### ③手と脇腹を示し(20)

そこには生々しい傷跡があり、十字架に架かれて死なれたイエス自身である証拠です。致命傷と死を超えて、今もイエスが生きておられることを証しています。イエスを捨てて逃げた弟子たちの後悔と痛みさえも主は赦され、彼らは喜びと平安を取り戻します。この復活の主に会い、見出すなら、状況如何によらず私達も平安に包まれるのです。

### II イエスから受け継ぐから(21-23)

#### ①立場を(21)

二度目の「平安があるように」には、さらにことばが続きます。イエスは父なる神からこの世に遣わされた救い主です。そのイエスが、今度は弟子たちを世の救いのために遣わされます。イエスを捨てた彼らを赦し、再び弟子として立たせると宣言されます。

#### ②使命を(23)

彼らを遣わすのは、イエスを死に追いやった者たちへの報復ではありません。イエスは世の罪を取り除くために遣わされた救い主です。イエスの復活によって死は破れ去りました。そこに示された罪を赦す権威を、弟子たちが出会う人々に具体的に適用するのです。この役割・使命は、今もイエスを信じる者たちに委ねられ、果たさなければなりません。

#### ③秘訣も(22)

罪の赦しを与える福音を伝え広めるには、これまでの自己中心で偏狭な弟子たちでは厳しく、新しい原動力が必要です。イエスは、自身の生涯と奉仕の秘訣である聖霊を彼らも受けるように命じられます。この命令は確かな約束でもあります。人を造られたときに神が息を吹き込まれたように、彼らに聖霊を送り、使命に相応しいのちと力を満たされます。

<おわりに> 「わたしはあなたがたに平安を残します」(14:27)の約束を果たすために、イエスは甦られました。イエスが与える平安は、過去の痛みから解き放って喜びを与え、現在の問題課題の中にも希望の道筋を見出し、これからの歩みと使命を果たせる確信を与えます。「平安があなたがたにあるように」と語り立つイエスとお会いし、向き合い、喜び受け取りましょう。(H.M.)